

くありがとう

佐野中1年 木村明日美

きな声で「ありがとう」

くさいですものね。少し

れで十分だと思えます。

思い出す

甘楽中2年 神場 美穂

たのは楽しいことでしょ

悲しいことでしょうか。

感をたたえた青春俳句。

は夏近し

南牧中3年 石井 ひな

む地域をしつかりと見つ

句にするのは、とてもい

もよく伝わってきます。

光ってきれいだな

大胡小5年 上野あつし

ぶ水たまり

大胡小5年 林 心菜

とうたつてる

かば小5年 関野 蒼彩

つにふいている

すま小5年 桑原 愛

されいだな

呂郷小5年 桜井 香音

春風かしのとくはこくくとおいてくる

桐生新里中央小5年 嶋田 琉音

春風が静かにふいておちつくよ

榛東南小5年 佐藤ゆのあ

走ってる私のとなりも夏風だ

東吾妻坂上小5年 一場穂乃花

春の水さらいと流れどこまでも

伊勢崎境小6年 久保 叶漣

啓蟄や空に向かってジャンプする

伊勢崎宮郷二小6年 町田 菜摘

通学路見上げた木から落ちる青梅

榛東南小6年 大畠 七海

水色のランドセルがね似合う夏

東吾妻坂上小6年 成瀬 ルナ

桜咲きやわらかい風ふいてゆく

高崎佐野中1年 中沢 千紘

新緑に深く息吸う令和の日

甘楽中3年 山口 めぐ

青葉の部

真つ直ぐに通り過ぎ行く新樹風

高崎経済大附高1年 細谷 悠太

光さし水玉のかけどうかえで

伊勢崎高等特別支援学校2年

中西 航太

三月月と花明かりの夜散歩する

桐生商業高定時制2年 毒島 功暉

人間はデマカセを言い春時雨

東京家政学院高2年 黒崎 愛子

各地の会

俳句

まどか元総社

俳句会

引き出しのつかえ梃摺り春の午後

高木 知子

泣き言は決して言うまい鼓草

岸 美恵子

行く春や母の形見のカーディガン

清水三代子

彼岸会や裏の寿司屋は隣組

鈴木 澄恵

思い出の卒業証書もう古ぶ

小菅みさを

雉子啼くや硫黄の匂う裏の川

中沢 勝子

笛の音空へ突き抜け春祭

石井 紀子

大風に出直す春の墓参かな

城田トミエ

り 高橋 通子

白蓮の臨江閣によく映えて

神保 洋子

教会の塔の尖りや鳥帰る

金井ミチ子

木の上のゴリラ動かす

花の風 牛久保悦子

桜東風吾の白髪におどるけり

今井 妙

サロン片岡

俳句会

婚礼のチャイムの響き

初燕 沢京華

ましまごと卯月の雪の重し庭

砂歩

未来ある孫と散歩や芝

青む ハツエ

春疾風ぎしぎし軋む窓の音

文子

雀の子そろりそろりと

狙ふ猫 江龍

著我の花小さき蕾のいとおしく

正子

水仙の同じ向きしてう

春つ

椅

時

校

舞

窓

は

影

の

塔

気

花

無

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花

花